

彩の国 埼玉



埼玉県空手道連盟

時報

(第13号) 編集兼発行 埼玉県空手道連盟 女性・広報委員



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員のみなさまにとって健やかな一年になりますようお祈り申し上げます。

【青少年空手道錬成大会】 令和4年11月19.20 埼玉県立武道館

錬成大会は、空手道の技術向上を図り、本県武道振興に資するとともに正しい空手道の精神を学び、青少年の健全な育成を図ることを目的として実施されています。今年度は、県内の小中学生約150名が参加しました。県内講師をはじめ、全日本空手道連盟より3名の先生をお招きし、形・組手とも熱心に指導を受けていました。



【第20回アジアカデット、ジュニア&アンダー21空手道選手権大会並びに

第18回アジアシニア空手道選手権大会、第1回アジアパラ空手道選手権大会】

2022.12.16~20 ウズベキスタン・タシュケント



日本選手団全体で、金18銀9銅9のメダルを獲得（出場国中最多）。本県出身選手・強化選手が大活躍し、メダル獲得に貢献しました！

<シニア>

男子組手-84kg：嶋田力斗 2回戦

女子組手-68kg：染谷香予 金メダル

男子団体組手：西村拳、嶋田力斗、平田京、崎山優成、森優太、鈴木晃成、安藤大騎 3回戦

<ジュニア>

アンダー21 男子個人形：阿部倅地 金メダル

カデット女子組手-47kg：刈込結月 金メダル

◆選手のコメント◆

染谷香予

どんなに頑張っても結果に結びつかない時があります。心と身体が一致せず、もがき苦しむ時もありました。しかし、諦めず、感謝の気持ちを忘れず、誠実に挑戦を続けていると本当に大切なものが見えはじめます。私は今年、安定と常識を手放し成長を求め、妹と2人きりで海外武者修行を行いました。勇気を振り絞ったこの挑戦から、私は大きな気付きと学びを得ました。今回のアジア大会は、決断・行動全てが試される場であり、自分が培ってきたものを証明できる場だと覚悟を決めて挑みました。結果、過去の自身を超える試合内容で5度目の優勝を達成しました。今の私が皆様にお伝えしたい事は、`挑戦は恐れるものではなく楽しむもの、だという事。重要なのは、失敗をしないことよりも、再び立ち上がる強さ。信じ続ける強さです。

そして、私は1人のアスリートとして1人の人間として、いつも皆様の応援に支えられております。皆様のおかげで今の私が在ります。心から感謝と敬意の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

阿部倅地

アジア大会はカデットの時に優勝したことがあるが、今回は10月の世界大会後、真価の間われる大切な大会であると心して臨んだ。世界大会決勝の相手であったベトナム、昨年度優勝の香港などが予選で同じグループだったが、自分の1番強い形を決勝に温存し、満足のいく形を打ち、点差をつけて優勝することが目標だった。結果は予選から決勝まで、点差をつけて優勝はできたが、決勝の形は自分の中で90点位の出来だったので課題を残しての優勝だった。試合スケジュールが4時間も遅れて、決勝は夜8時半頃(日本時間の夜中12時半)になったが、国体の経験を生かし、コンディションもうまく整えられた。今年は、埼玉県ジュニア強化練習でお世話になり10年目の節目の年でもある。プレミアリーグで銅メダル2つ、世界大会とアジア大会で優勝し、U21世界ランキングは1位、シニアの世界ランキングも10位まで到達した。先生方に感謝の意を表したい。これからも今年をステップに頑張っていこうと思う。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

刈込結月

初めての海外試合で、30時間近い移動をはじめ、慣れないことがたくさんありました。その中でも自分の実力を出すことができたのは、埼玉ジュニアの先生方や一緒に練習してきた仲間のおかげです。これからも更に上を目指して頑張っていきたいと思います。

【KARATE 1 シリーズ A ジャカルタ 2022】 2022年11月18日~20日 インドネシア・ジャカルタ



嶋田力斗 男子個人組手 -84 kg 金メダル

ジャカルタ大会では調整も上手くできていて万全な状態で試合に臨むことができたのが優勝という結果につながったのだと思いました。

【全日本空手道選手権大会】

令和4年12月11日 日本武道館

嶋田力斗 男子個人組手 第3位

全日本選手権でもパフォーマンスは、とても良かったのですが勝ち続ける難しさというのを痛感しました。これからはより一層、応援して下さる方々へ恩返しができるように励んでいきます。

